

令和3年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

本校は様々な事情を持つ人々が学びを求めて、一同に集う学校である。このような生徒に寄り添い、個々に応じた教育活動を実践し「入学してよかった」と言われる学校をめざす。

- ① 生徒が自分の未来を創造できる学校：基礎学力を身につけ、社会の一員として活躍できる人材を育成する。
- ② 生徒一人ひとりが大切にされる安全で安心な学校：規範意識を育て、互いの違いを認め、周囲への気配りのできる人材を育てる。
- ③ 地域・家庭と連携し、協力して生徒を育てる学校：連携を通じて愛される学校をめざす。

2 中期的目標

1. 基礎学力の定着

(1) 「分かる」「楽しい」を実感し、「達成感」を持てる授業づくりと環境づくり

- ア. ICTや視聴覚教材を取り入れた、興味・関心を高める授業の推進
- イ. 規則正しい学校生活を通して授業規律を確立し、学習環境の充実をはかる
- ウ. 生徒の認知能力を把握し、個々に応じた授業内容・教材の工夫をおこなう

※学校教育自己診断で「学校の授業はプリント、スライド、映像等の補助教材も使うなど工夫をしている」の肯定率(H30 81% R1 84% R2 85%)をR5年度には88%にする。

※学校教育自己診断で「学校の授業中は、落ち着いて学習しやすい。」の肯定率(H30 73% R1 58% R2 67%)をR5年度には73%にする。

※新入生の2年生への進級率(R1 71% R2 89%)をR5年度には92%にする。

(2) 図書館の利用を促進する。(生徒一人当たり平均利用回数：H30年度 3.6回、R1年度 5.0回、R2年度 - 回)をR5年度には8.0回にする。

2. 自尊感情の育成

(1) 人としての倫理観や規範意識を確立する

- ア. 互いを認め、ともに高めあう人間性の育成
- イ. 命の大切さ、善悪の判断等について指導する

※学校教育自己診断で「命の大切さ、社会のルール、人権の大切さについて考える機会がある。」の肯定率(H30 79% R1 75% R2 83%)をR5年度には85%にする。

(2) コミュニケーション力の向上

- ア. 挨拶のできる生徒を育てる
- イ. 学校行事へ積極的に参加できる環境をつくり、人と関わる喜びを体験させる
- ウ. 体育祭、文化祭等の行事において、保護者、地域、中学校教員と積極的に連携、交流をはかる

※学校教育自己診断で「自分はいさつをしている。」の肯定率(H30 85% R1 69% R2 71%)をR5年度には80%にする。

※学校教育自己診断で「体育祭、文化祭などの学校行事は、みんな楽しい。」の肯定率(H30 68% R1 74% R2 72%)をR5年度には75%にする。

(3) 家庭、中学校、地域との連携強化

- ア. 必要な情報を速やかに発信し、情報共有を密にする事により、学校、家庭、中学校、地域が一体となり教育活動を進める。
- イ. ボランティア活動の継続

※保護者向け学校教育自己診断で「学校は、家庭への連絡や意思疎通を行っている。」の肯定率(H30 77% R1 85% R2 93%)をR5年度には93%にする。

(4) 課題を抱える生徒への支援体制の充実

- ア. フォローアップコーディネーターを中心とした、個々のニーズに応じた支援体制を強化する。

※学校教育自己診断で「学校には、話を聞いてくれたり、気軽に相談できる先生がいる。」の肯定率(H30 77% R1 72% R2 70%)をR5年度には75%にする。

※中退率(H30 13.7% R1 12.5% R2 4.2%)をR5年度には8%以下を維持する。

3. キャリア教育の充実

(1) 生徒が自らの将来設計について考え、踏み出すことができるよう、進路指導の充実をはかる。

- ア. 進路に関する十分な情報を生徒へ提供するとともに、保護者との連絡を密にし、学校・家庭が一体となって指導にあたる
- イ. ガイダンス機能の充実をはかり、1年次より継続的に個々のニーズに応じた進路指導を行う。
- ウ. 就労体験・応募前見学を進め、就職希望者の進路決定率を向上させる。

※学校教育自己診断で「学校は、就職や進学についての情報を十分に知らせてくれる。」の肯定率(H30 81% R1 79% R2 84%)をR5年度には85%にする。

※学校教育自己診断で「進路指導に関する問No.15・16」の肯定率(H30 80% R1 75% R2 82%)をR5年度には85%にする。

※卒業生の進路決定率(H30 60% R1 61% R2 64%)をR5年度も60%以上を維持する。

4. 学校力の向上

(1) 教員力の向上

- ア. 授業見学、研究授業等により、授業力向上に取り組む。
- イ. 首席を中心に、経験年数の少ない教員の育成に取り組む。

※学校教育自己診断で「学校の授業の説明は、わかりやすい。」の肯定率(H30 77% R1 78% R2 79%)をR5年度には82%にする。

(2) 職務の効率化

- ※年間時間外勤務 240時間以下
- ※年次有給休暇の取得率 70%以上

(3) コンプライアンス意識の向上

- ア. 不祥事の防止、個人情報の管理、職場のハラスメントの防止について、徹底をはかる。
- イ. セキュリティポリシーの徹底をはかり、個人情報管理体制を強化する。

(3) 危機管理体制及び保健・安全・衛生管理の徹底

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和 3 年 12 月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>◎R2年度の長期休業等の影響を考慮し、R1年度のデータも記載したうえで分析している。</p> <p style="text-align: right;">※データはすべて肯定率</p> <p>◎保護者については回答数が60人と少人数なため、肯定率の変動が大きくなっていることが考えられる。</p> <p>基礎学力の充実 (生徒)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の授業は、プリント、スライド、映像等の補助教材も使うなどの工夫をしている。 R1 84%→R2 85%→R3 89% 学校の授業の内容に、ついていける。 R1 75%→R2 76%→R3 72% 学校の授業の説明は、わかりやすい。 R1 78%→R2 80%→R3 84% 学校の授業中は、落ち着いて学習しやすい。 R1 58%→R2 67%→R3 75% <p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学校の授業はわかりやすい。」と子供が言っている。 R1 74%→R2 84%→R3 76% 「学校の授業中は、落ち着いて学習しやすい。」と子供が言っている。 R1 50%→R2 70%→R3 59% <p>生徒については、3項目でR1,R2を上回っている。特に、「学校の授業中は、落ち着いて学習しやすい。」は挨拶運動、巡回指導に加えて、教員が一体となって中抜け・無断早退の指導を強化した結果、授業中の状況が大幅に改善されたことを表している。この状態を継続することにより、基礎学力の充実へとつなげることができる。</p> <p>保護者については、2項目とも大きな変化はない。しかし、「学校の授業中は、落ち着いて学習しやすい。と子供が言っている。」が上昇はしているものの、59%と低い数値にとどまっている。今後、保護者にも授業中の状況が伝わるよう、さらに指導を継続する必要がある。</p> <p>自尊感情の育成 (生徒)</p> <ul style="list-style-type: none"> 体育祭、文化祭などの学校行事は、みんな楽しい。 R1 74%→R2 72%→R3 74% 学校生活についての指導については理解できる。 R1 75%→R2 79%→R3 80% 学校には、話を聞いてくれたり、気軽に相談できる先生がいる。 R1 72%→R2 70%→R3 81% 命の大切さ、社会のルール、人権の大切さについて考える機会がある。 R1 75%→R2 83%→R3 87% <p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校には、話を聞いてくれたり、気軽に相談できる先生がいる。 R1 88%→R2 83%→R3 85% 学校の生徒指導の方針は、理解できる。 R1 86%→R2 87%→R3 85% 学校は命の大切さ、社会のルール、人権の大切さについて、考えさせる機会を作っている。 R1 82%→R2 84%→R3 87% <p>生徒については、3項目でR1,R2を上回っている。教員が様々な事情を持つ生徒に対して、「寄り添う教育」を実践した結果が表れている。特に、「命の大切さ、社会のルール、人権の大切さについて考える機会がある。」が大幅に上昇したことは、平素よりの指導が実り、生徒の自尊感情、倫理観の育成につながっている。学校として非常に喜ばしい結果となっている。</p> <p>保護者についても引き続き、高率で推移している。平素よりの学校の指導に理解を得ていると考えられる。</p> <p>キャリア教育の充実 (生徒)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校のコース選択や単位取得、選択科目、履修などのガイダンスはわかりやすい。 R1 74%→R2 75%→R3 77% 生徒の興味関心、進路希望に応じて選べる選択科目がある。 R1 69%→R2 70%→R3 74% ホームルームなどで自分の将来について考える機会がある。 R1 70%→R2 80%→R3 82% 外部講師による講演会は有意義だと思う。 R1 66%→R2 71%→R3 71% 学校は、就職や進学についての情報を十分に知らせてくれる。 R1 79%→R2 84%→R3 82% <p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校は、コース選択や単位取得、選択科目、履修などについてわかりやすく伝えている。 R1 88%→R2 94%→R3 82% 生徒の興味や関心、進路希望に応じて選べる選択科目がある。 R1 69%→R2 77%→R3 77% 	<p>第1回 令和3年7月16日(金)実施</p> <p>1) 令和3年度 学校経営計画について</p> <p>①基礎学力の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ICTや視覚教材を取り入れて、生徒の興味・関心を高める授業を推進する。 学習の基礎となる認知力に着眼し、認知力向上トレーニングであるコグトレを本格的に活用する。 授業を大切にするという観点で、中抜け・早退について指導を強化する。 <p>提言・意見</p> <p>○認知力向上に向けた取り組みについて、測定の結果を自分で把握し、自分の強み、弱みを知る等、生徒に還元できるような仕組みを考えてもらいたい。</p> <p>○新型コロナで長期休校などになった場合に向けて、オンライン授業の整備を整えていただきたい。</p> <p>②自尊感情の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> あいさつができる生徒が増えてきているので、自らあいさつができるように集会やHRで促す。 教育相談委員会を生徒支援委員会へと組織改編を行い、より組織的な支援を行う。 生徒指導部と学年の連携を密にし、中抜け・早退について粘り強い指導を行う。 <p>提言・意見</p> <p>○生徒を支援するための外部人材(SSW、SC、夜間介助員、学習支援員等)は、本校において必須であり、十分な活用回数の配置を強く要望する。</p> <p>③夢や志を抱く喜びを伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> 前年度はコロナで心配したが、何とか例年並みの進路決定になった。 次年度から高卒求人複数応募が始まるので、準備を整える。 <p>提言・意見</p> <p>○コロナ禍での進路指導は大変だと思うが、生徒の将来を広げてあげてほしい。</p> <p>④ 校内組織の活性化と人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトチームを立ち上げて、学校案内パンフレットの作成や学校説明リーフレットの見直しを行った。 ネヤトレ(コグトレ)を本格的に活用(1日に1回は受ける)し、生徒の認知力を向上させる。 全日制と連携し、授業見学を相互に行い、授業力の向上を図る。 <p>提言・意見</p> <p>○各中学校、3年生の先生方に、学校案内パンフレットがいきわたるようにしてもらいたい。</p> <p>第2回 令和3年11月29日(月)実施</p> <p>【授業見学の感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ネヤトレ(認知機能トレーニング)を体験したが面白かった。(美術) その日にすることを生徒自身にも書かせる(アナログ)、ICTを活用する(デジタル)など、両方を上手く使い分けていて良かった。(美術) 活気があり、生徒が楽しそうに体を動かしていた。(体育) <p>(1) 第1回 授業アンケート(7月実施)結果(教頭)</p> <p>前年度は新型コロナウイルス感染症の影響で6月から学校が始まり比較が難しいため、令和元年度の7月と比較することとした。全体的に右肩上がりとなっており、継続していきたい。</p> <p>提言・意見</p> <p>○非常に高い評価が出ており、これ以上をめざすよりも維持する方向でいいのではないかな。</p> <p>○先生と生徒の信頼関係が高いことが、うかがえる。</p> <p style="text-align: center;">TV放送 MBS「4チャンネル」内で取り上げられた内容を視聴</p> <p>(2) 分掌の取り組みについて (教務部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1人1台端末授業に向けて、chromebookを活用できるよう準備をしており、教職員研修を実施予定。 教員同士の授業見学を行い、授業力向上を図っている。 <p>(生徒指導部)</p>

府立寝屋川高等学校 定時制の課程

- ・学校は、就職や進学について、適切な指導を行っている。

R1 82%→R2 87%→R3 83%

生徒については、進路保健部・学年団が計画的に指導を行い、外部指導者等も活用した結果すべての項目で肯定率が上昇している。生徒たちの意識を高めることができた。次年度も継続して指導を進めていく。

保護者については大きな変化は見られないが、全般に高い評価を得ている。

- ・登校時に教員が正門に立ち、あいさつと声掛けを行い、あいさつをできる生徒は増えている。
- ・授業中に教室を抜け出している生徒が少しいるが、巡回当番の教員や学年の教員で細かく指導している。
- ・携帯電話の使用に関する特別指導は、今年度起こっていない。

(進路保健部)

- ・学校紹介就職希望者の8割が内定をいただいている。
- ・次年度から高卒就職の1人1社制が廃止されるので、準備が必要である。
- ・進学希望者が今頑張っていて、年内にAO入試や推薦入試で進路決定予定である。

(新型コロナウイルス感染症関連の報告)

- ・感染が不安で学校に来ることができなかった生徒数
- ・体調不良による早退者の推移
- ・健康調査結果

(支援関係)

- ・学習の基礎力を高める目的で、認知機能強化トレーニングを1年生対象に1日に1回は受けられるよう英数国体美の授業時間に実施している。
- ・教職員全体の生徒理解を深めるため、講師を招き、セクシャルマイノリティについての教職員研修を9月に実施した。

(校内の活性化・職務の効率化について)

- ・学校紹介パンフレットを刷新し、中学校に配布した。
- ・経験の少ない教員の学びの場として、全日制と相互の授業見学を年明けに行う。
- ・進路保健部を中心に、災害時の対応についてのマニュアルを整理した。

提言・意見

- 定時制だからこそできること、定時制ならではのポイントを洗い出し、特徴ある学校づくりをしてほしい。

第3回 令和4年2月28日(月) 書面にて

① 全般

提言・意見

- 昨年に引き続き、コロナ感染症防止による様々な規制や制約のある中、授業アンケートや学校教育自己診断で生徒や保護者から肯定的な回答が得られたのは、日々の教育活動の成果であると考えられる。とりわけ、学校内に自分の居場所があると肯定的に答える生徒が多く昨年を上回っていることは、今後の教育活動を展開するうえでプラス材料になると考えられる。
- お世話になりました。入試、卒業式を目前に控え、多くの業務を抱えており、大したご意見を出すこともできずご容赦ください。このようにコロナ禍が2年以上も続くとは想像もしていなかったが、今年度も教育課程、行事など何を進めるにおいても困難に直面し、もどかしさを感じた。寝屋川市内の小中学校では、選択登校制のもと、なかなかクラス全員揃うことがない状況である。小早川准校長先生をはじめ、先生方におかれましても、苦労の連続かと思うが、生徒たちの自立のために、ご尽力いただきますようお願いする。
- いつもお世話になります。資料を読ませていただき、年々支援が必要な生徒さんが増えてきているとおっしゃられていましたので、先生方が寄り添いながら進んで行っている唯一無二の高校だと思う。
- 私が4年間保護者の視点で感じた事ですが、校長・教頭・教員のコミュニケーションが素晴らしい。何とか頑張って登校している生徒たちに、「元気」と「前向きになれる力」を与えてくださったと思う。その力のもと、教員たちがいろいろ元気に、明るく前向きにいろいろと取り組んで来られたからだと思う。毎年行われる授業アンケートを見ても、年々授業に興味を持ち、落ち着いて自分の進路について考えながら、学校生活を送ることができていると感じる。
- 昨年、書面会議の文章を送付した時、2年連続になるとは思いもよりませんでした。修学旅行の中止など今年度もまた学校生活に大きな制限がある中、行事を行うために色々な工夫を重ねておられることと思う。令和2年入学の3年制コースの生徒さんが、せめて残り1年を制約の少ない状況で学校生活を送ることができるよう、願っている。
- あいさつを返してくれる生徒さんが増えてきたのは、すごい嬉しいことである。私が学校へ行った時にもあいさつすると返してくれる方もおられた。
- コロナ、コロナで追われた1年、いや2年でした。工夫の行事、変更の修学旅行、バドミントン部の数年連続全国大会出場、および今年度の卓球部の全国大会出場など、困難な中で経験したことのない教育現場での先生がたの一致協力した取り組みに敬意を表す。

② 第2回授業アンケート結果について

提言・意見

- 令和2年は3月からの臨時休校、6月の学校再開という特殊な状況でした。7月のアンケート結果は「自宅での学習」をイメージしたものになったと思う。対して12月は「目の前で先生が自分たちの反応を見ながら授業をしてくれる」ことへの評価ですので、例年よりも平均の上昇が高かったと思う。今年度は令和元年と比較すると大きな差異はありませんので、令和2年12月との比較でポイント減が多かったことは大きく受け止めなくても良いように感じた。
- 「授業アンケート結果」の「推移」グラフ、令和元年と比べるとマイナスの項目が多く驚いたが、「考察」のコメントを読み、安心した。特に、6.「先生は…注意をしている」の

府立寝屋川高等学校 定時制の課程

項目で-10になっている理由が、「教師が注意をする必要がない」ほど生徒たちが集中しているという点。日ごろの先生たちのご指導が行き届いていることが伺われた。

③ 学校教育自己診断（生徒・保護者）の結果や学年の様子について

提言・意見

- 生徒アンケートの多くの項目が7～8割を達成できており、素晴らしいと思う。様々な社会適応や発達課題を抱えている生徒もいる中で、学ぶ意欲を持ち続けさせるだけ大変だと思うが、先生方のご苦勞と努力は計り知れないかと思う。
- 「学校に話を聞いてくれたり、気軽に相談できる先生がいる」が大きく伸びている点は、高く評価できると思う。昨年度と比べ、10%アップは、大きな成果である。
- 「学校の授業中は落ち着いて学習しやすい」に生徒が74%肯定的に回答しているのに対し、保護者が58%と差があるのは残念である。これも、コロナで公開授業や学校での様子を見ていただく機会が減っていることが原因かもしれない。
- 学校の評価はまず、授業が分かるかどうかで決まると思う。生徒の「学校の授業の説明は、わかりやすい。」が、2年連続で非常に高い評価を得ていることにまず安堵。保護者の評価も、「『学校の授業の説明は、わかりやすい。』と、子どもが言っている。」で、非常に高い数値になっていて、これが大きな「承認」の中身だ。ただ、「『学校へ行くのが楽しい。』と、子どもが言っている。」の保護者への質問項目で、R3では42%が否定的回答なのが気になったが、コロナの中での通学の困難さがあるのかなと、今年だけのマイナスであってほしいと思った。学校行事に教職員の皆さんの協力で「満足度の高いものとなった」というのは頭が下がる。
- 「各学年の様子」では、やはり退学者が少数ながらあるのが気になる。生徒の個別事情があることは分かるが、課題として、増々の取り組みを期待する。
- 昨年と同じく、土曜講座を受けてみたいという生徒の割合が増えるには、どうすればよいだろうか思った。
京都国際マンガミュージアムやグリコピア、コロナ前は海外の人に人気だった森野サンプルなどは楽しいと思うのだが。（勝山市の福井県立恐竜博物館はとても楽しいと思うのだが、遠いですね・・・）ホームページで学際研究のシラバスにたどり着けなかったのも、もしも趣旨とかけ離れていましたら申し訳ありません。
- 「肯定」の割合が低い「PTA活動や保護者同士の交流が盛んになれば良いと思う。」だが、私自身熱心にPTA活動をした者ではないし（順番が回ってきたら、受けなければならないものという認識である）、やはり誰彼となく交流するというのは少々ハードルが高い。「交流」ではなく、「共有」であれば、違和感なく受け入れられるのではないだろうか。ホームページの「お知らせ」や情報伝達メールが公的なものであるならば、ちょっとした学校での出来事「〇組、今日の出席者は今月で最多」「卒業生を送る会での合唱ムービー、センターは〇〇先生」など短いメッセージを伝えるサブのものがあれば、今まで関わりが少なかった保護者の方にも関心を持ってもらえ、学校とのつながりが深まるのではないかと思った。ただ、先生方の負担が、今よりも一層増えてしまうということもあり、なかなか難しいことだが。
- このコロナ禍で、行事や活動に制限が増え、学校内では、いろいろな工夫で楽しくその制限を乗り切っているようだが、保護者には伝わっていないと感じる。文化祭や体育祭の入場制限で来られなかった家族や、生徒の都合で行事に参加できない保護者のために、HPで写真や一行コメントでも、気軽に学校生活を覗く機会があれば、もっと「PTA活動や保護者同士の交流が盛んになれば良いと思う。」「学校は、家庭への連絡や意思疎通を行っている。」の数値は向上すると思う。

④ 分掌チャレンジのまとめについて

提言・意見

- ICT研修、コグトレ、ネヤトレなどの取り組みで、授業の変化、取り組みやすさが増していることが、拝察される。生徒支援員会での取り組みは、得てして教師の本務とは違う専門性の問われる内容もあり、多忙化の中ですが、研修などを含めて、生徒の困難解決に努力してほしいと思う。
- 10月の中間報告と年度末チェックを見ると、各分掌でしっかりと分析・チェックされていることがよくわかる。内容を教職員間で共有して、次年度の方策につなげていただきたいと考える。
- コグトレを活用した取組みは、様々な面で効果がみられるとのこと。来年度以降も継続し、特色ある学校独自の教育活動として進めてもらいたい。
- 先生方が一丸となって、授業規律の確立に取り組み、特別指導件数が減っていることが評価できる。
- 生徒の認知能力の把握、個々に応じた授業内容・教材の工夫については、定時制の課程では、特に教員の発達に対する知識や指導技量が高まることが望まれる。校内研修なども計画的に実施されていると思うが、継続して教員力向上・学校力向上をめざし取り組まれるよう期待している。
- コグトレに1年間取り組み、2月実施の認知能力測定テストの結果を実施されたという事で、その結果も大変興味深く、また分析結果を見せていただく機会があればと楽しみにしている。
- キャリア教育について、学校紹介就職で21名の内定は素晴らしいと思う。
- 図書室の利用者増は、様々に工夫して推進してくれるので、継続していただきたい。生涯学習にも本と触れ合いが備わっていれば、学ぶことがいつからでもできる。

⑤ 令和3年度学校経営計画及び学校評価について

6人中6人 承認

- 様々な事情を持つ人々が、学びを求めて本当にそうだと思う。学力が問題の生徒、気持ちが問題の生徒、私生活が問題の生徒、全てに合わせての活動は大変だと思うが、毎年、とても工夫して取り組まれていると思う。感謝したい。

府立寝屋川高等学校 定時制の課程

本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R2年度値]	自己評価
1 基礎学力の定着	<p>(1)「分かる」「楽しい」を実感し、「達成感」を持てる授業づくりと環境づくり</p> <p>(2)図書館の利用を促進する</p>	<p>(1)</p> <p>ア・ICTや視聴覚教材を取り入れ、わかりやすい授業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が積極的に参加できる、双方向の授業を実施する <p>イ・挨拶運動、巡回指導、携帯指導を継続する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中抜け、無断早退の指導を強化する。 <p>ウ・1年生に対して入学時、コグトレを活用した本校独自の認知能力測定テストを実施し、認知能力の把握を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎日1度は授業の最初に「コグトレ」を実施する。1年間継続して実施することにより、認知能力の向上をはかる。 年度末に、再度コグトレを活用した本校独自の認知能力測定テストを実施し、1年間の認知能力の向上を検証する。 能力に応じて授業内容を工夫し基礎学力の定着をはかる。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館の利用を促進し、本に触れる機会を増やす。 	<p>ア・学校教育自己診断で「学校の授業はプリント、スライド、映像等の補助教材も使うなど工夫をしている」の肯定率を1ポイント上げる。[83%]</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業アンケート「授業に、興味・関心を持つことができたと感じている。」の学校平均を0.02上げる。[3.46] <p>イ・学校教育自己診断で「学校の授業中は、落ち着いて学習しやすい。」の肯定率を2ポイント上げる。(R2年度67%)</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業アンケート「先生は授業中してはいけないことをしている生徒に対し注意をしている。」の学校平均を0.02上げる。[3.56] 早退者数を1300件以下にする。[1400] <p>ウ・コグトレを活用した本校独自の認知能力測定テストの結果が向上した生徒の割合を50%以上。[新規]</p> <ul style="list-style-type: none"> 新入生の2年生への進級率を維持する。[89%] 図書館の生徒一人当たり平均利用回数を1回上げる。[6.2回] 	<p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校教育自己診断で「学校の授業はプリント、スライド、映像等の補助教材も使うなど工夫をしている」の肯定率89%と6ポイント上がった。(○) 授業アンケート「授業に、興味・関心を持つことができたと感じている。」の学校平均は3.28と0.18下がった。授業改善をさらに進めることが必要である。(△) <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校教育自己診断で「学校の授業中は、落ち着いて学習しやすい。」の肯定率75%と大きく上回った。(◎) 授業アンケート「先生は授業中してはいけないことをしている生徒に対し注意をしている。」の学校平均は3.38で0.18下がった。原因として、授業が落ち着いたことにより、このような生徒が目立ったと考えられる。加えて、教員の危機感が不足した結果がこの数値に現れたと考えられる。(△) 早退者数336件であった。大幅に目標を達成することができた。(◎) <p>ウ</p> <p>コグトレは授業に比べて達成感が得られやすいことから、興味を持って取り組んでいる。これによりその後の授業に取り組む姿勢までを高めている。当初想定したものは別の効果が生まれている。認知力測定テストについては、結果が向上した生徒の割合は81%となり、目標を大きく上回る結果となった。(◎)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新入生の2年生への進級率は82%であった。入学当初より課題を抱えた生徒の増加もあり、目標を達成することはできなかった。(△) 図書館の生徒一人当たり平均利用回数は7.9回となった。(◎)
2 自尊感情の育成	<p>(1)人としての倫理観や規範意識を高める</p> <p>(2)コミュニケーション力の向上</p> <p>(3)家庭、中学校、地域との連携強化</p>	<p>(1)</p> <p>ア、イ</p> <ul style="list-style-type: none"> 全教員により、授業、HR、総合的な学習の時間、総合的な探究の時間、学校行事において指導する。加えて、外部人材を積極的に活用する。 万一、新型コロナウイルス感染症陽性者が発生した場合でも、差別事象が発生しないよう全教員で指導する。 <p>(2)</p> <p>ア・あいさつ運動は継続して実施する。受け身のあいさつだけでなく、自分からあいさつすることをHRや集会において促す。</p> <p>イ・生徒会が中心となって行事の企画運営を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 行事の参加率を上げる。 <p>ウ・保護者への連絡の徹底と地域、中学校への情報発信を活発にする。</p> <p>ア・メール、HPを活用し、保護者への情報伝達を迅速かつ密に行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校説明会を3日間実施し、保護者、地域、中学校教員へ開かれた学校づくりをめざす。 	<p>ア、イ</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校教育自己診断で「命の大切さ、社会のルール、人権の大切さについて考える機会がある。」の肯定率を維持する[83%] 差別事象は発生しなかったか。 <p>ア・学校教育自己診断で「自分はいいさつをしている。」の肯定率を2ポイント上げる。[71%]</p> <p>イ・学校教育自己診断で「体育祭、文化祭などの学校行事は、みんな楽しい。」の肯定率を2ポイント上げる。[72%]</p> <ul style="list-style-type: none"> 行事の参加率を維持する。[体育祭、文化祭とも59.7%] <p>ウ・体育祭、文化祭への来場者数を300人以上にする。[R1年度293名]</p> <p>ア・保護者向け学校教育自己診断で「学校は、家庭への連絡や意思疎通を行っている。」の肯定率93%を維持</p>	<p>ア、イ</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校教育自己診断で「命の大切さ、社会のルール、人権の大切さについて考える機会がある。」の肯定率は87%となり、大幅に上回った。(◎) 差別事象は発生していない。(○) <p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校教育自己診断で「自分はいいさつをしている。」の肯定率は72%であった。1ポイントの増加にとどまったが、自分からあいさつをする生徒は増加している。(○) <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校教育自己診断で「体育祭、文化祭などの学校行事は、みんな楽しい。」の肯定率は74%で2ポイント上回るすることができた。 参加率体育祭65%、文化祭54% <p>コロナ渦にあっても生徒にとって充実した行事にすることができた。(○)</p> <p>ウ</p> <ul style="list-style-type: none"> 入場制限を実施したので評価できず。(ー) <p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者向け学校教育自己診断で「学校は、家庭への連絡や意思疎通を行っている。」の肯定率は83%に留まった。今年度に関しては

府立寝屋川高等学校 定時制の課程

	(4) 課題を抱える生徒への支援体制の充実	<p>イ・ボランティア清掃を各定期考査終了後4回実施する。</p> <p>ア・フォローアップコーディネーターを中心にSC、SSWと密接に連携を取り、生徒支援委員会が効率的に活動する。</p>	<p>する。 [93%]</p> <p>イ・1回当たりの参加者を40名以上に する。 [38名]</p> <p>ア・学校教育自己診断で「学校には、話を聞いてくれたり、気軽に相談できる先生がいる。」の肯定率を2ポイント上げる。 [70%]</p> <p>・中退率8%以下を維持する。 [4.2%]</p>	<p>コロナによる長期休校を実施せず、家庭への連絡が減少したのが原因だと考えられる。しかし来年度以降一層連絡を密にする必要がある。(△)</p> <p>イ・1回あたりの参加数は30人に留まった。4回目が12月の実施と寒い時期であったのと、コロナに対する不安から参加をためらう生徒が多かった。(△)</p> <p>ア・ ・学校教育自己診断で「学校には、話を聞いてくれたり、気軽に相談できる先生がいる。」の肯定率は81%で大きく上回ることができた。教員の「寄り添う教育の実践」の成果である。(◎)</p> <p>・中退は10名、5.3%である。(1/27 現在) (○)</p>
3 キ ャ リ ア 教 育 の 充 実	(1) 生徒が自らの将来設計について考え、踏み出すことができるよう、進路指導の充実をはかる。	<p>ア・進路保健部と担任団が一体となって情報提供を行う。</p> <p>イ・1年次より進路HRを実施し、進路選択について考える機会を設定する。</p> <p>ウ・就労体験、応募前会社見学を充実させ、就職希望者の進路選択の機会を増やす。</p>	<p>ア・学校教育自己診断で「学校は、就職や進学についての情報を十分に知らせてくれる。」の肯定率を維持する。 [84%]</p> <p>イ・学校教育自己診断で進路指導に関する問「将来について考える機会がある」「進路情報を伝えてくれる」の肯定率を維持する。 [82%]</p> <p>ウ・卒業生の進路決定率を維持する。 [64%]</p>	<p>ア・学校教育自己診断で「学校は、就職や進学についての情報を十分に知らせてくれる。」肯定率は82%で2ポイント下回った。R2年度は休校の影響により短期間に集中して指導を実施したことで、条件の違いが数値に現れたと考えられる。(R1年度は79%であった) (△)</p> <p>イ ・学校教育自己診断で進路指導に関する問「将来について考える機会がある」「進路情報を伝えてくれる」の肯定率は82%で達成できた。(○)</p> <p>ウ ・決定率は64%で維持できた (○)</p>
4 学 校 力 の 向 上	<p>(1) 教員力の向上</p> <p>(2) 職務の効率化</p> <p>(3) コンプライアンス意識の向上</p> <p>(4) 危機管理体制及び保健・安全・衛生管理の徹底</p>	<p>ア・授業見学、研究授業を実施し、全教員で授業力向上に取り組む。</p> <p>ア・職務の効率化をはかり、時間外勤務を減らす。また、年次有給休暇の取得を促進する。</p> <p>ア・職員会議等において、繰り返し不祥事の防止、個人情報の管理、職場のハラスメントの防止について、徹底をはかる。 ・セキュリティポリシーの徹底をはかり、個人情報の管理体制を強化する。</p> <p>ア・校内体制を組み、マニュアルを作成し、全教員に周知する。 ・教職員研修を開催する。 ・新型コロナウイルス感染症予防を徹底する。 ・陽性者が発生した場合、迅速に対応する。</p>	<p>ア・授業見学を2回(1回は全日制の授業見学)、研究授業を1回実施する。 ・学校教育自己診断で「学校の授業の説明は、わかりやすい。」の肯定率を2ポイント上げる。 [79%]</p> <p>・授業アンケート「先生は、わかりやすく説明してくれる」の学校平均を0.02上げる。(R2年度 3.60)</p> <p>ア・年間時間外勤務時間数を200H以内に維持する。 [152H]</p> <p>・年次有給休暇の取得率を70%以上に する。</p> <p>ア・不祥事、個人情報の流失、職場のハラスメントの事象を0件にする。</p> <p>ア・年間1回以上教員研修を実施し、周知できたか。</p>	<p>ア・授業見学を2回(1回は全日制の授業見学)、研究授業を1回実施した。特に研究授業では、観点別評価についての研修に重点を置いた。(○)</p> <p>・学校教育自己診断で「学校の授業の説明は、わかりやすい。」の肯定率は84%となり大きく上回った。授業アンケート「先生は、わかりやすく説明してくれる」の学校平均は3.5であり0.1下回ったが、十分に目標を達成している。(○)</p> <p>ア・年間超過勤務時間は103hで目標を大幅に達成できた。(◎)</p> <p>・年次有給休暇の取得率83%であった。(○)</p> <p>ア ・不祥事、個人情報の流失、職場のハラスメントの事象は発生していない。(○)</p> <p>ア。 ・教員研修を1回実施し、周知した。(○)</p>